

# 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司



古の作法に則って、堂々と晋山

## 副住職、龍源寺に晋山

去る6月15日(土)から16日(日)にかけての2日間、龍源寺三十世晋山結制式が行われました。梅雨の真っ只中

の開催ということで、天候が心配されましたが、幸いにして雨は降らず、粛々と宗門の伝統に則った儀式を厳修することができました。

今回の仁叟寺報『山雲水月』夏号では、この晋山結制式の特集を組ませていただきました。以下、詳細は2頁にありますので、ご覧ください。

約350年の歴史がある龍源寺は正式名称、慈雲山松田院龍源寺。吉井町多胡地区にあり、開山は当寺九世の日洲寿朔大和尚です。今までは当寺住職が兼務をしていましたが、今回の晋山結制式を機に当寺副住職が正式に三十世住職に就任しました。

### 龍源寺新住職紹介

姓名

渡辺龍道 (法号・大永)

生年月日

1976年3月22日生まれ (26歳)

安居歴 (修行歴)

大本山總持寺に2年間

学歴

早稲田大学教育学部歴史科卒

中国北京語言文化大学留学 (1年)

職歴

群馬よみうり新聞社勤務 (半年)

趣味

旅行・映画鑑賞・パソコン・読書

### 平成14年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1 年頭祈禱
- 1/3~1/4 年始挨拶
- 2/3 節分会
- 2/15 涅槃会
- 3/10 大般若法要
- 3/18~3/24 春彼岸
- 3月末 筆供養
- 4/8 花祭り
- 7/12~7/16 県外檀信徒棚經
- 7/23~7/24 子供禪の集い
- 8/13~8/16 お盆
- 9/20~9/26 秋彼岸
- 12/8 成道会
- 12/31 除夜祭
- 毎週土・日曜日 書道教室
- 毎週水曜日 定期坐禅会・華道教室
- 隔週水曜日 梅花講講習会

## 子供坐禅会 参加者募集中!

今回で21回目の子供坐禅会は、7月23日から24日にかけて開催。対象は小学生。詳細は同封の資料で確認をお願いいたします。連絡先は、仁叟寺

(TEL) 027-387-3080

(FAX) 027-387-8766

(e-mail)

ryugenji@alpha.ocn.ne.jp



## たいとうしき 二十九世退董式

退董式とは、住職の退任式です。この度、龍源寺二十九世大頭啓司大和尚が、その任を、弟子の長男龍道に渡し東堂となりました。

振り返りますと、東堂住職は昭和50年に龍源寺住職に就任。

27年間、  
お疲れ様でした

当時無人の寺を拡張し、檀信徒を約三倍に教化。また、墓地の造営

や本堂・庫裏の改修、長屋門会館の新ながやもん築ぎょらんかんぜおんぞうや魚藍観世音像、義民白田六右衛門ぎみんしらたろくうえもん顕彰碑、太平洋戦争慰霊碑などの建立をはじめとする境内整備などその功績は枚挙に暇いとまがありません。

今後は仁叟寺住職に専念となります。長い間、本当にお疲れ様でした。

しんさんじょうどう

## 晋山上堂 (禅問答)

この晋山上堂と呼ばれる式が、晋山結制式の最大のクライマックスです。

僧侶が次々と、新命和尚に問答を仕掛け、その力量を試すというもの。いわゆる禅問答です。もちろん、事前の打

合せなどはなく、全てが即興で行われます。仏教用語から時事的なワールドカップ、他にも、「喝」の一言など多種多様な問答が繰り広げられました。



問答に喝！



力強く法問を戦わず

## しゅそほっせんしき 俊司首座法戦式

当寺の徒弟であり、住職の次男の渡辺俊司和尚は現在こまざわだいがく駒澤大学仏教学部禅学科に在籍中。大学を休学し、2年間大本山總持寺で厳しい修行を積みました。今回はその俊司和尚のりつしよく立職と呼ばれる式、それがこの「首座法戦式」です。

僧侶になるためには誰もが通

る関門で、いわゆる僧侶の元服式です。この日を境に上座じょうざと呼ばれ、僧侶として一人前として認められます。

それゆえ、首座は、一世代の儀式ですから当然ですが、緊張と決意でこの式に臨みます。今回は、修行時代のどうあんご同安居（同期）7人から法問が矢継早やつぎばやに浴びせられましたが、堂々とした受け答えに感動を受けました。

## 57年振りの同窓会

去る5月12日（日）の正午より、第1回仁叟がくどうそかい寺学童疎開児童同窓会が行われました。元学童が一同に集まるのは57年振りということですので。

今回は当時交流もあったという吉井国民学校の学童も参加してくださり、総勢約20人が旧交を温め合いました。また、上毛新聞や朝日新聞にも掲載され、その記事を見た高崎市の根立氏より、群馬のお土産に渡して欲しいと『水沢うどん』20箱を頂きました。

学童達は第二次大戦中末期の昭和18年以降に疎開をして来ました。東京都北区王子の岩淵

第二国民学校と柳田国民学校（

こだいはす

## 古代蓮開花！

藤岡市白石の宮澤二三夫氏より寄贈された古代蓮（大賀蓮）が開花しました。当寺檀信徒会館入口前に3鉢が栽培されています。

ハスの権威として知られた大賀一郎理学博士が、昭和26年に千葉市にある東京大学けみがわ 検見川農場で、約2000年前（弥生時代）の地層からハスの種子を発見しました。3粒のうち1粒を見事に開花させたことから、博士

心を和ませる表情の、『しあわせ地蔵』



くわしゅう 空襲により廃校、戦後再開）の2校の学童。吉井町では当寺の他、法林寺やおんぎょうし 恩行寺などに疎開をしていたそうです。



### 井の叟寺 記念文集発見が縁

東京の国民学校の6人... 発見されたのは、昭和18年... 疎開していた学童... 当時の交流があったという... 吉井国民学校と柳田国民学校... 当時の交流があったという... 吉井国民学校と柳田国民学校...

## 疎開仲間57年ぶり再会

### 上毛新聞社会面（5/9付）より

この度の同窓会は仁叟寺史編纂作業中に見つかった『仁叟寺学寮記念文集』が発端。参加者は先ず本尊様にご挨拶の法要をし、境内を散策したり食事をし、また文集を読みながら当時の事に思いを馳せ、和やかな一時を過ごしました。

がくりょう ほったん



神秘的な古代蓮の花

の名が付けられました。花は午後1時頃には閉じてしまいますので、朝早い内に見に来られるのがいいでしょう。

## しあわせ地蔵建立

吉井町神保の神保尚一氏が、亡き母の菩提供養にと『しあわせ地蔵』を寄付して下さいました。白御影石製で穏やかな表情のお地蔵様は、寺の庭園とよく調和しています。

お寺にお越しの際に、是非ご参拝下さい。

## お盆について

盆にお迎えする精霊は祖霊、新仏（にいぼとけ：前の年のお盆から次の年のお盆までに亡くなった人の霊）、無縁仏の三者の霊です。これらの精霊をお迎えした後、その精霊をお祀りするために盆棚（精霊棚）を家の中に設けます。通常はお仏壇の前に設けるケースが多いようです。

棚は土地によって違いはありますが、テーブルや机などを台にしてその上にござやむしろなどを敷き、仏壇から御位牌や過去帳などを移して、その祭壇の後方中央に安置します。他には花立て、線香立て・仏具なども並べ、お供物としてそうめん、だんご、季節の野菜、果物などをお供します。

イメージとしては右図の通りですが、このような祭壇はお盆のみに臨時的に設けるもので、特にこのような祭壇を飾らない場合には、いつもの仏壇の前机などを利用し、右図に倣って整えた上で、こころを込めた御供え物をするだけでもいいでしょう。現在の仏壇はこの盆棚が進化したものだという説もあります。

お盆棚を設けるのは、たいていは13日の朝ですが、新盆（新仏のある家庭）の方は早く1日から7日ごろまでに設け、特に念入りにお飾りをします。これらの準備が整った

### 盆棚の飾り方（例）

ところでお坊さんに供養していただくのが「棚経（たなぎょう）」というわけです。盆棚の飾り方やその時期などは、それぞれの地方により異なるようですが、ともかくご先祖さまのお好きだったものや、伝統につちかわれた供え物を差し上げ、丁寧に供養をして先祖さまに気持ちよくお帰りいただくようにします。



## 行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

梅雨も終わり、<sup>せみしぐれ</sup> 蝉時雨が夏を告げている今日  
この頃、皆様は如何お過ごしでしょうか。お  
<sup>いかが</sup>  
かげ  
蔭さまをもちまして、龍源寺三十世晋山結制  
<sup>つつが</sup>  
式は恙無く終了いたしました。

龍源寺檀信徒の方々はもとより、ボランティア（住職友人）、親戚、仁叟寺檀信徒、仁叟寺史編纂委員、業者の方々に大変お世話

になりました。特にボランティアの皆様は仁叟寺からの人員輸送をはじめ、受付、演奏、案内、接茶などを担当していただきました。他にも写真を撮影して下さった仁叟寺史編纂委員写真班の方々、仁叟寺梅花講、華道教室の方々。改めて謝意を表します。

晋山上堂式の間答にもありましたように、「公明正大にして日々弁道精進」していきたいと思っております。